



こもり 隆一 議員
(公明党議員会)



中心市街地の活性化について

Q 新しい中心市街地の展望を描くために、県道拡幅に伴う関係店舗、住宅等への新たな意向調査等が必要と考えるが、見解を伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

中心市街地の展望は、現在第2次佐野市中心市街地活性化基本計画でまちなかの将来像を定め、この計画に基づき事業を進めています。

県道拡幅事業は、栃木県が事業主体となり進めています。事業は完了していません。したがって、県道拡幅後の中心市街地への影響は未知数であると捉えています。

意向調査を実施する予定は現時点ではありませんが、中心市街地の展望を見据えることは重要であると認識しています。県道拡幅事業の完了後、中心市街地において歩行者等の交通量など、人流に新たな変化が生じた場合、必要に応じて中心市街地活性化基本計画

その他の質問

☆空き家対策について
☆防災対策について
☆生活困窮者自立支援法等改正について

対象エリア内の意向調査を検討していきます。



かわしま 嘉一 議員
(令和みらい)



「国の地方創生2.0」基本構想に基づく本市の取り組みについて

Q ふるさと住民登録制度の創設の目的と本市の取り組みについて伺いたい。

A 市長

ふるさと住民登録制度の創設については、令和8年度の開始に向け、現在総務省において制度設計が行われています。この関係人口の取り組みや都市と地方の人材交流を進め、地方への新たな人の流れを創出することで、ふるさと納税や特産品の購入などによる地域経済の活性化、ボランティア、副業、二地域居住という形で地域の担い手を確保するといった効果が示されています。登録者側のメリットとしては、登録したふるさととの情報や行政サービス等の提供などが例示されています。

現状、制度の詳細が明らかになっていませんが、こうした関係人口を可視化する仕組みの創設により、本市をふるさとと感じてもらい、本市に愛着を持つて

その他の質問

☆次期学習指導要領等の改訂について
☆教育の質の向上について

もらうことは非常に有意義なことだと感じていますので、今後国の動向を注視していきたいと考えています。

令和7年第5回定例会（9月定例会）審議された議案と結果

第5回定例会(9月定例会)は、9月5日(金)から10月1日(水)までの27日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は、次のとおりです。

議案番号等	件 名【内 容】	議決結果等	
議員案第3号	佐野市議会会議規則の改正について【詳細は14ページに記載】	原案可決	賛成全員
議員案第4号	佐野市議会委員会条例の改正について【詳細は14ページに記載】	原案可決	賛成全員
報告第10号	公益財団法人佐野市民文化振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について【令和7年度の事業計画及び予算並びに令和6年度の決算】	報 告	—
報告第11号	公益財団法人佐野市農業公社の経営状況を説明する書類の提出について【令和7年度の事業計画及び予算並びに令和6年度の決算】	報 告	—
報告第12号	株式会社どまんなかたぬまの経営状況を説明する書類の提出について【令和7年度の事業計画及び予算並びに令和6年度の決算】	報 告	—
報告第13号	令和6年度健全化判断比率及び資金不足比率について【令和6年度の決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告】	報 告	—